健保組合
加入事業所の
ご紹介
その㉚

nic
ニック食品株式会社

ニック食品株式会社

インスタントコーヒーの輸入自由化が発端で設立された会社が、時代とともに大きく変貌を遂げ、清涼飲料水、さらには幅広いジャンルの食材をゼリーにする技術を開発。現在はヘルスケアにも取り組み、高カロリーゼリーの開発も行っている。

今回は、昭和36年の創業以来、一貫してOEM（Original Equipment Manufacturer＝相手先ブランド製造）事業に携わってきた、船橋市高瀬町のニック食品㈱本社を訪問し、川謙一取締役本社工場長、福地剛本社工場経営管理部長、平岡雅之本社工場経営管理部総務・人事課長にお話を伺いました。

新川 雄司代表取締役社長

インスタントコーヒーの輸入自由化が発端に

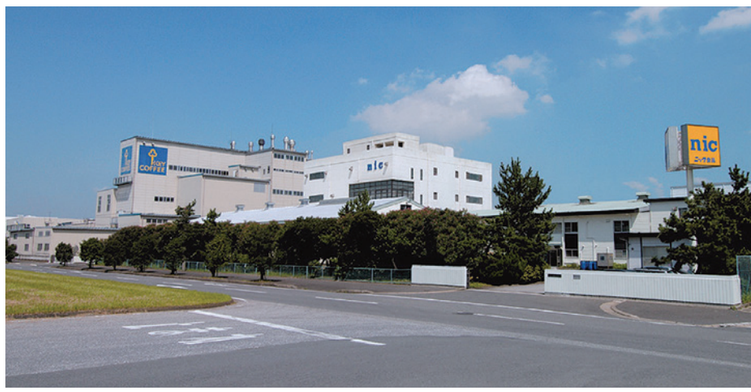
同社は昭和36年12月、東京都日野市にインスタントコーヒーのリパックを目的とした日本インスタントコーヒー工業㈱として設立されました。

かつてコーヒーは、地元の名士が取り扱う高級舶来品でした。昭和30年～40年代の喫茶店ブームで、それぞれ地元のコーヒーロースターが地元の喫茶店に豆を卸し、同時にインスタントコーヒーも小規模ながら扱っていました。しかし、インスタントコーヒーの輸入自由化により、外資系企業に市場をほぼ占領され、国内の中小ロースターでは対抗できませんでした。そこで、中小ロースターが組織する全日本コーヒー協会が出資し、インスタントコーヒーのリパック会社を立ち上げました。それが日本インスタントコーヒー工業㈱でした。ところが、それでも外資系企業には勝てませんでした。

そこで、コーヒーのリパックからジュース・シロップ製造に業務を変更し、昭和40年6月にニック食品工業㈱と社名変更しました。リパック会社設立時に中心となったのが㈱木村コーヒー店です。この会社は三井物産食品グループで、昭和40年代に千葉の埋め立て地に三井物産食品グループ団地を誘致するときに、船橋市高瀬町に移転しました。このとき割り当てられた土地が広大だったため、関連企業のニック食品工業㈱も移転することになりました。

移転とともにフルーツゼリーの製造開始

昭和52年11月本社工場が完成し移転。移転後の昭和53年4月、フルーツゼリーの製造を開始し、昭和61年3月本社敷地内に工場を増築しフルーツゼリー製造ラインが完成。その後の平成4年、生産能力増強のため、自動化・省力化工事が完成しました。本業だったシロップ製造はポーションシロップの出現と喫茶店の減少でオーダーが少なくなり、これまで株



▲工場外観

主からだけだったものを株主以外からもオーダーを受けるようにしました。幸い㈱木村コーヒー店から社名変更したキーコーヒー㈱の系列だったため、大手関連会社が手掛けるジュース・ビール等の飲料とは関係のない食品メーカーとして幅広いメーカーの仕事を受けることができました。

これまでのOEM事業の技術や経験はどんな液体の製造にも対応が可能なため、新商品開発の大きな力となっています。平成17年4月キーコーヒー㈱の連結子会社となり、同年7月、現在のニック食品㈱に社名変更しました。それまで作られた製品は株主に納められるため、営業は必要なかったのですが、社名変更当時の社長は、「メーカーは自分たちで作ったものは自分たちで売るのが基本だ」とし、創業以来初めての営業活動を開始。その責任者に現本社工場長の川氏が抜擢され、色々なメーカーを回って営業活動を行いました。平成20年10月、昭和40年以前の業務だったインスタントコーヒーのリパックを個包装として事業を再開しました。

利便性の高い紙容器を使用し食品の安全を第一に

当社の企業理念は「私たちは、全従業員とお客様の幸福を追求し、清涼飲料や食品の事業領域において、お客様のご期待に応える製品の提供にチャレンジし続け、お客様に信頼されるパートナーとして企業価値を向上させます。」

現在は、多品種・小ロットに対応し、清涼飲料水にとどまらず、調味料などあらゆる液体の製造に取り組んでいます。また、高温高圧調理殺菌装置（レトルト）により、幅広いジャンルの食材をゼリーにすることが可能で、高級感のある商品の製造など、お客様の新商品開発の力になれる自信をもっています。容器についても、軽くて空容器の後始末が簡単で保存性に優れるなど、利便性の高い紙容器を使用し、安全で安心なあらゆる液体製品を長年にわたり製造し信頼を得ています。

▲右：川 謙一取締役本社工場長
　左：福地 剛本社工場経営管理部長

今後の展望については、自社ブランド品を作ること、ヘルスケア事業を進めることと話され、現在流動食患者が口から食べる高カロリーゼリーを開発しており、少量でもより多くの栄養が取れるものを考えているとのことです。

また、平成13年5月に「ISO14001」を取得、平成25年10月には「ISO9001」「ISO22000」そして「FSSC22000」を取得し、国際的にも食品の安全性が認められています。

地域貢献としてクリーンアップ活動に参加

地域貢献として、船橋市や三番瀬の清掃活動、クリーンアップ活動に社員が参加し、地域の皆さまとの交流も深めています。

職員の健康について伺ったところ、分煙のため喫煙所を設置。また、当健保組合の人間ドック、インフルエンザ予防接種事業には多くの被保険者・被扶養者の方にご利用いただいておりました。

◆◆◆

お忙しい中、川 本社工場長、福地 経営管理部長、平岡 総務・人事課長には長時間にわたる取材にご協力いただき、誠にありがとうございました。

今後もこれまで蓄積した高い技術でさまざまな商品開発を進めていただき、健康食品を含む幅広い分野でご活躍されることをお祈り申し上げます。

nic
ニック食品株式会社　ニック食品㈱のいろいろな製品

KEY COFFEE
コーヒーという情熱

キーコーヒーブランドのフルーツジュース

ふなばしゼリー詰合せ